



SPA Wellness
NPO 日本スパ・ウェルネス協会

ビューティセラピスト 認定実技試験 受験要項

※本要項には、出願から資格取得までに必要な事項が記載されています。
出願前に必ず確認し、不備のないよう十分に注意してください。

特定非営利活動法人
日本スパ・ウェルネス協会

〒171-0014 東京都豊島区池袋 2-23-3 TEL 03-5960-0332

目次

I	ビューティセラピスト認定試験	2
II	出願手続	
1.	受験資格	3
2.	出願に必要な書類	3
3.	出願書類の提出先と受付期間	4
4.	受験料と振込先	4
5.	出願の流れ	5
6.	受験票の発行と通知	5
III	試験概要	
1.	試験日程	5
2.	試験会場	6
3.	試験内容	8
4.	試験の流れ	9
5.	モデルについて	14
6.	受験者準備物と貸出品について	16
7.	試験前後の荷物の発送について	18
8.	受験上の注意事項	19
9.	試験後の整理整頓について	19
10.	試験当日の交通機関に関する注意事項	20
IV	合否通知の発送	20
V	受験申し込みから資格取得までの流れ	21

※本要項に記載されている「マッサージ」という用語は、エステティック施術において、美と健康を目的として行い、肌や身体に対して穏やかに働きかける行為であり、医療類似行為としての「マッサージ」とは異なるものです。

ビューティセラピスト認定試験

ビューティセラピストとは、トータルエステティック※1の知識と技術、かつ信頼されるサービスマナーをもち合わせた上級セラピストに付与される資格です。

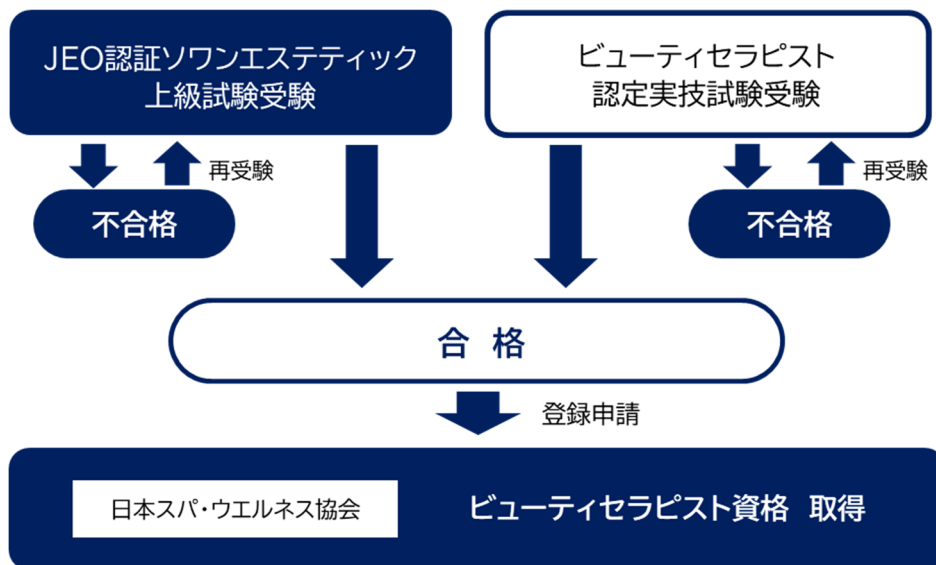
日本スパ・ウエルネス協会が実施する「JEO※2 認証ビューティセラピスト上級試験」と「ビューティセラピスト実技試験」の両試験に合格されると、日本スパ・ウエルネス協会の「ビューティセラピスト」資格を取得することが可能です。



※1 トータルエステティックとは、フェイシャルケア、ボディケア、脱毛、メイクアップ、ネイルケアといった総合的なエステティックを指す。

※2 JEOとは特定非営利活動法人日本エステティック機構の略称である。

【受験から合格・資格申請までの流れ】



II 出願手続

1. 受験資格

当協会の正会員であり、次の①、②のいずれかの要件に該当する方

- ① 美容・エステティック専修学校、スクールなどで、JEO が発表（2007年5月）した「エステティシャン指針」に準拠した1000時間以上のカリキュラムを修了した方、または修了見込みの方。
- ② NPO 法人日本スパ・ウエルネス協会「認定エステティシャン」を取得後、エステティックに関連する実務経験を2年以上有する方。

2. 出願に必要な書類

- ◎ JEO 発表の「エステティシャン指針」に準拠した1000時間以上のカリキュラムを修了、または修了見込であることを証明する書類の写し（受験資格①該当者）
- ◎ 日本スパ・ウエルネス協会「認定エステティシャン」の取得を証明する書類の写し（受験資格②該当者）
- ◎ 実務経験証明書（受験資格②該当者）
⇒当協会ホームページよりダウンロードしてください。
- ◎ 団体申込用紙（認定校より出願の場合）

実務経験証明書

※必要書類の不備（必要事項の記入漏れ、必要書類の添付なし等）や受験料未納などの場合は、それらが解決されるまで受験することはできません。

※偽造した必要書類を提出した場合や提出した書類に虚偽の記載が含まれていた場合は、認定後であっても資格を取り消します。

※勤務している会社やサロンなどが複数にわたる場合は、それぞれの実務経験の期間及び内容を記入し、現在の所属先にて証明を受けてください。

※勤務していた会社が倒産・閉鎖して押印をいただけない場合は、実務経験証明書に必要事項を記入し、会社名と勤続期間がわかる書類（源泉徴収票・給与明細などの写し）を期間分ご提出ください。

※受験者自身が代表者の場合は、客観的証明と判断できる書類（登記簿謄本、納税証明書、個人事業の開業届等の届出書など）の写しをご提出ください。

※一度受理した書類は原則返却いたしません。原本の提出が必要な書類以外は必ず写しを提出してください。

3. 出願書類の提出先と受付期間

【出願書類の提出先】

特定非営利活動法人 日本スパ・ウエルネス協会 事務局

〒171-0014 東京都豊島区池袋 2-23-3

TEL：03-5960-0332 FAX：03-3988-8227 受付時間：月～金 10：00～17：00

※JEO 認証ソワエステティック上級試験（ビューティセラピスト認定筆記試験）の提出先とは団体名が異なりますのでご注意ください。

【出願書類の受付期間】

ホームページに記載している申込期限内（おおよそ試験日の2か月前から1か月前まで）

<https://www.spa-wellness-japan.or.jp>

※締切日を過ぎた書類は受理いたしかねますので、ご注意ください。

4. 受験料と振込先

【受験料】

11,000 円（税込）

【受験料振込先】

みずほ銀行 丸の内中央支店 普通預金口座 1995665
口座名義：特定非営利活動法人 日本スパ・ウエルネス協会

※JEO 認証ソワエステティック上級試験（ビューティセラピスト認定筆記試験）の振込先とは異なりますのでご注意ください。

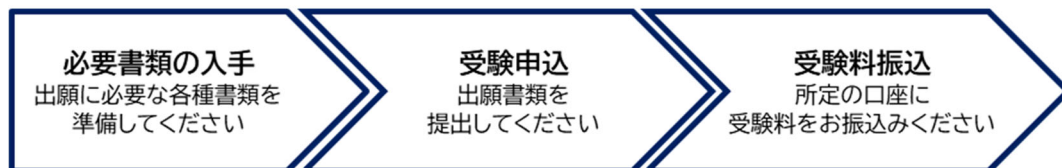
※実務経験者の方は「**受験者本人名義**」で、当協会認定校の場合は必ず「**認定校名**」でお振込みいただき、振込証明書をお受け取りください。

※振込手数料は受験者負担となります。

※振込証明書は破棄せず、合格後、資格認定登録を行うまで大切に保管してください。

※受験をキャンセルする場合は、**試験日 1 週間前まで**に事務局へご連絡ください。それ以降のキャンセルは事務局の都合でない限り、**いかなる理由でも受験料の返金はいたしかねます**のでご注意ください。なお、自己都合によるキャンセルの場合は、返金の際の振込手数料は受験者負担とさせていただきます。

5. 出願の流れ



出願に必要な書類はホームページよりダウンロードしてください。書類提出後、受験料を所定の口座にお振込みください。

6. 受験票の発行と通知

- ・ 受験票は試験の1週間前までに、受験願書に記載の住所に発送予定です。試験日3日前になっても受験票がお手元に届かない場合は、事務局までお問い合わせください。
- ・ 団体申込の場合は、ご担当者様へまとめて送付いたします。
- ・ 書類などの確認のため、当協会に登録された電話番号、メールアドレスに連絡する場合があります。
- ・ 住所、電話番号、メールアドレスなどに変更があった場合は速やかに事務局までご連絡ください。
- ・ 提出いただいた個人情報につきましては、適正かつ厳重に管理の上、ビューティセラピスト試験実施の目的以外には使用いたしません。

III 試験概要

1. 試験日程

年2回（7月・12月）

※試験の日程の詳細はホームページを参照してください。

※試験日程は都合により変更になる場合があります。

2. 試験会場

【東京会場】

ミス・パリ・ビューティ専門学校

東京都豊島区池袋 2-23-3 1F

- 池袋駅：JR 各線、東武東上線、西武池袋線、
東京メトロ：丸の内線・有楽町線
副都心線地下街（Echika）を副都心線
方面に進み C1 出口より徒歩 3 分
- 要町駅：東京メトロ：有楽町線、副都心線 5 番出口
より徒歩 5 分

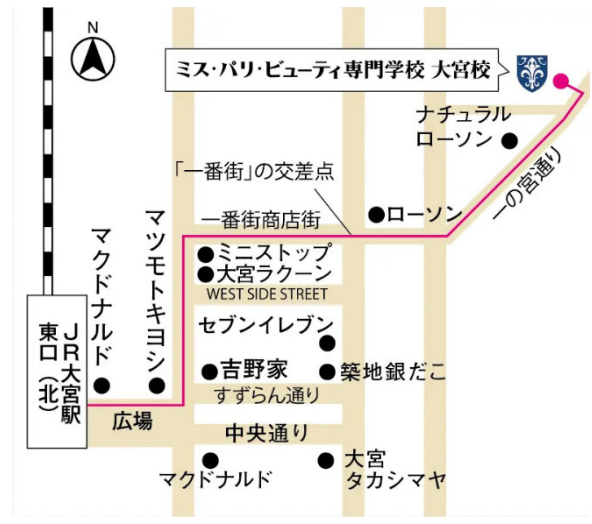


【大宮会場】

ミス・パリ・ビューティ専門学校 大宮校

埼玉県さいたま市大宮区高鼻町 1-46

- JR（在来線・新幹線）、埼玉新都市交通、東武野田線
「大宮駅」より徒歩 7 分



【大阪会場】

ミス・パリ エステティック専門学校

大阪府大阪市北区曽根崎 2-2-18 9F

- JR「大阪駅」中央口より徒歩 7 分
- 阪急「梅田駅」中央口より徒歩 7 分
- 大阪メトロ御堂筋線「梅田駅」14 番出口より徒歩 5 分
- 大阪メトロ谷町線「東梅田駅」6 番出口より徒歩 4 分
- JR「北新地駅」東改札口より徒歩 4 分

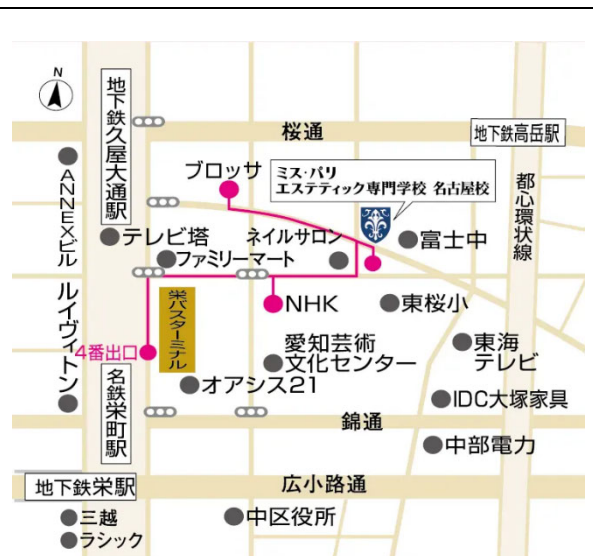


【名古屋会場】

ミス・パリ エステティック専門学校 名古屋校

愛知県名古屋市東区東桜 1-8-3 5F

- ・地下鉄東山線・名城線「栄駅」東改札口より徒歩7分
- ・名鉄瀬戸線「栄町駅」より徒歩7分
- ・地下鉄桜町線・名城線「久屋大通駅」南改札口より徒歩7分



【新潟会場】

国際ビューティモード専門学校

新潟県新潟市中央区花園 1-1-12

- ・新潟駅西口より徒歩1分



【福島会場】

国際ビューティ&フード大学校

福島県郡山市方八町 2-4-21

- ・郡山駅東口より徒歩3分



- ※ 各会場とも定員になり次第締め切らせていただきます。
- ※ 受験者が試験実施可能者数に満たなかった場合、その会場での試験開催を見送ることがあります。
- ※ 会場の定員により受験希望地の変更をお願いする場合があります。予めご了承ください。

3. 試験内容

【試験時間】

全工程 185 分（各技術間休憩 10 分間含む）

ボディ実技：60 分、フェイシャル技術：80 分、選択技術：25 分（各 10 分間休憩有）

<ボディ実技試験（60 分）>

コンサルテーションシートに基づいた内容のボディ実技

- ・コンサルテーションシートの作成
- ・ボディマッサージ ※基本 6 手技が入ったもの
- ・口頭試問

<フェイシャル実技試験（80 分）>

コンサルテーションシートに基づいた内容のフェイシャル実技

- ・クレンジング
- ・コンサルテーションシートの作成
- ・ディープクレンジング及び機器トリートメント
- ・フェイシャルマッサージ（デコルテ含む） ※基本 6 手技が入ったもの
- ・パック（マスク）
- ・整肌、仕上げ
- ・口頭試問

<選択技術（25 分）>

- ・ネイル、メイク、エステティック関連実技（脂肪のもみだし・リフレクソロジー・ハンドマッサージ・ヘッドマッサージ）の中から 1 つ選択
- ・口頭試問

【合格基準】

ボディ : 100 点を満点として、**70 点以上が合格**

フェイシャル : 150 点を満点として、**105 点以上が合格**

選択技術 : 50 点を満点として、**35 点以上が合格**

※ボディ、フェイシャル、選択技術のうち、1 つでも 7 割を下回ると不合格となります。

4. 試験の流れ

【ボディ実技試験の流れ（試験時間：60分）】

順序	所要時間	科目	試験内容	施術上の留意点	
①	5分	事前準備	・準備(器具、用具、化粧品)	・器具、用具、化粧品は全て用意する。 ・化粧品は、モデルに適したものの、かつコースの流れに沿ったものを準備する。	
			・ワゴンのセッティング	・器具、用具、化粧品は必要なものを不足なく機能的に配置し、ワゴンは施術しやすい位置にセッティングする。 ・不要なものはワゴン上に出さず、引き出しに入れる。	
			・ベッドメイキング	・ベッドは清潔感があり、シワのないようきれいにセッティングする。	
			・衛生面	・使用する器具、用具の消毒を適切に行い、使用済と未使用なものとの分別をする。 ・化粧品を衛生的に使用する。 ・施術前や施術中の手指の消毒を常に心掛ける。	
		受験者の身だしなみ	試験官より髪、メイク、ユニフォーム・シューズ、ストッキング、爪などトータルの身だしなみのチェックを受ける。		
			・手指、爪	・手指、爪は手入れをする。 ・爪は指先から出ないように整える。	
			・髪	・髪は清潔に整え、長い髪は美しくまとめる。 ・前髪や短い髪などは、施術中に触れずに済むように対処する。	
			・メイク	・好感をもたれるナチュラルなメイクアップを施す。	
			・ユニフォーム	・汚れやシワ、ボタンのほつれなどが無い清潔なユニフォームを着用する(下着が透けていないこと)。	
			・シューズ	・汚れが無い清潔で動きやすいシューズを着用する。	
			・ストッキング	・肌色に近い色のストッキングを着用する。	
			・アクセサリ	・アクセサリや時計などは身につけない。	
		・全体の清潔感	・好感をもたれる身だしなみと全体の清潔感を心掛ける。		
※モデルのメイクチェックも行う。適切なメイクがなされていない場合は、減点対象となる場合もある。					
②	15分	衛生・消毒	・技術者の消毒	・施術前や施術中の手指の消毒を適切に行い、施術中も衛生的に保つ。	
			・モデルの消毒	・モデルの消毒を適切に衛生的に行う。	
		ボディ コンサルテーション	・ボディチェック	・施術に必要な情報を引き出し、皮膚や身体の状態(脂肪や筋肉の状態、冷え、むくみ等)を的確に判断し、正しく分析する。 ・傷や炎症箇所などトリートメントを避ける部位の有無などをチェックする。 ・姿勢の歪み(不良姿勢)をチェックする(正面・横)。	
			・適切な技術(コース)設定	・コンサルテーションで得た情報を総合的に判断し、どのような目的で何のトリートメントを行うかを決定する。 ・ボディ分析の内容に基づき、施術目的を明確にし、施術プラン及び使用化粧品を適切に選択する。	
			・ホームケアアドバイス	・適切で具体的な内容であり、継続可能なアドバイス(食事、運動、生活面など)をする。	
・シートの記入状況	・施術に必要な情報を最大限に引き出し、要点をまとめて記入する。 ・指定された時間内でシートを完成させる。 ・事前記入の部分は、誰が見ても見やすく、分かりやすい表現で記載する。				
※ベッドの背もたれは立てた状態でもフラットな状態でも可。 ※コンサルテーションシートの太枠内は事前記入。 ※身長、体重はモデルの自己申告による数値を使用する。 ※消毒、マッサージの準備までこの時間内で行う。					

順序	所要時間	科目	試験内容	施術上の留意点
③	35分	ボディ トリートメント (手技)	・マッサージ料の 肌への適合性と使用量	・施術目的や肌質に適合したマッサージ料を選択し、適切な量を使用する。
			・姿勢、体重移動	・各部位への移動はスムーズに行う。 ・施術部位や手技に応じて、姿勢や体重移動が適正である。 ・ベッドやモデルとの距離を適切に保ち、身体に負担のない美しい姿勢で行う。
			・テクニック	・基本6手技を用いる。 ・各手技の目的と効果を理解し、丁寧さ、密着、リズム、強弱、連続性に配慮したトリートメントを行う。 ・骨格や筋肉、リンパ節の位置を理解し、的確な範囲・走行でトリートメントを行う。 ・技術にまとまりがあり、全体を通して安定した技術を行う。
			・タオルドレーピング	・終始、施術部位以外の露出が少なくなるよう、適切にタオル等を使用する。 ・施術中のモデルの体感温度に配慮する。
<p>・背面から前面に移るときの拭き取り可。 ・時間に余裕があればマッサージ中の拭き取り可。ただし、施術終了が早すぎる場合は減点対象。</p>				
④	5分	拭き取り 原状復帰	・拭き取り	・タオルを適切に扱い、拭き残しがないように、素早くかつ丁寧に拭き取る。
			・原状復帰	・後片付けを丁寧に言い、原状復帰する。
<p>・シャワーの使用は不可。</p>				
—	全体を通しての 接客・誘導	・姿勢、体重移動	・正しい姿勢、歩き方、座り方を意識する。	
		・接客マナー	・好感のもてる表情、立ち居振る舞いで臨む。 ・正しく美しい言葉遣いで話す。 ・丁寧にスムーズな誘導をする。	
		・モデルへの配慮、気配り	・モデルに対して常に気を配り、配慮ある心遣い、声かけ、対応をする。 ・礼儀正しく心のこもった接遇で、モデルと適切なコミュニケーションを図る。	
		・安心感	・謙虚で真剣な態度で臨み、安心感や信頼感に繋げる。	
	口頭試問	・全体を通しての理解度	・モデルの皮膚や身体の状態について、ボディトラブルの原因とメカニズム、選択した技術の目的と効果、禁忌事項や注意事項、基本手技の目的と効果、使用化粧品の特徴成分、ホームケアアドバイスなどについて適切に回答する。	
		・受け答えのマナー	・口頭試問にはマナー良く回答する。	

【フェイシャル実技試験の流れ（試験時間：80分）】

順序	所要時間	科目	試験内容	施術上の留意点
①	15分	事前準備	・準備(器具、用具、化粧品)	・器具、用具、化粧品は全て用意する。 ・化粧品は、モデルに適したものの、かつコースの流れに沿ったものを準備する。
			・ワゴンのセッティング	・器具、用具、化粧品は必要なものを不足なく機能的に配置し、ワゴンは施術しやすい位置にセッティングする。 ・不要なものはワゴン上に出さず、引き出しに入れる。 ・機器類と水気のあるものを一緒に設置しない。
			・ベッドメイキング	・ベッドは清潔感があり、シワのないようきれいにセッティングする。
			・衛生面	・使用する器具、用具の消毒を適切に行い、使用済と未使用なものとの分別をする。 ・化粧品を衛生的に使用する。 ・施術前や施術中の手指の消毒を常に心掛ける。
		フェイシャルクレンジング	・クレンジング料の肌への適合性と使用量	・肌質やメイクの状態に応じたクレンジング料を選択し、適量でクレンジングする。 ・使用する化粧品の特徴成分、効果を理解している。
			・テクニック	・肌トラブルに配慮し、肌に負担をかけず、丁寧さ、密着、リズム、強弱、連続性かつ安定感あるクレンジングを行う。
			・拭き取り	・コットンやスポンジの清潔な面で、肌に負担をかけないように拭き取る。 ・拭き残しがないように、丁寧かつ手際良く拭き取る。
※モデルはデメイクをしていること(ボディ試験の身だしなみチェック時にチェックする)。 ※クレンジングはフェイシャルだけでなく、デコルテ(または首)まで行う。 ※スチーマーの使用可。 ※必要に応じてコットンクレンジング可。 ※試験官による拭き取りチェック有(コンサルテーション時)。				
②	15分	フェイシャルコンサルテーション	・肌質の分析力	・施術に必要な情報を引き出し、皮膚の状態(肌質や皮膚トラブル等)を的確に判断し、正しく分析する。 ・傷や炎症箇所などトリートメントを避ける部位の有無などをチェックする。
			・適切な技術(コース)設定	・肌分析の内容に基づき、施術目的を明確にし、施術プラン及び使用化粧品を適切に選択する。
			・ホームケアアドバイス	・適切で具体的な内容のアドバイス(食事、運動、生活面など)をする。
			・シートの記入状況	・シートは必要事項を漏れなく、要点をまとめて記入し、指定された時間内で完成させる。 ・事前記入の部分は、誰が見ても見やすく、分かりやすい表現で記載する。
※ベッドの背もたれは立てた状態でもフラットな状態でも可。 ※コンサルテーションシートの太枠内は事前記入。 ※施術中にモデルの肌に何らかのトラブルが起きた場合は、試験官の許可を得てトリートメントプランを変更してもよい。				

順序	所要時間	科目	試験内容	施術上の留意点
③	15分	ディープクレンジング及び機器トリートメント	<p>< I.ディープクレンジング > スチーマーの使用可 エレクトロクレンジング / ブラシピーリング / ゴマージュ(粒子あり) ゴマージュ(粒子なし) / 吸引(サクシオン) / 酵素洗顔+α (酵素洗顔のみは不可)</p> <p>< II.機器トリートメント > イオン導入/パター/高周波/低周波/超音波 ※上記の中から肌質や肌トラブルに合わせて2つ以上選択する。</p>	
			・施術の選択	<ul style="list-style-type: none"> 肌の状態に適したディープクレンジング及び機器トリートメントを選択し、その選択理由が説明できる。 化粧品を使用する場合は、使用する化粧品の特徴成分、効果を理解している。
			・テクニック	<ul style="list-style-type: none"> 選択技術の目的や効果を踏まえ、適切な技術工程で手際よく行う。 肌に負担なく施すための注意事項や禁忌事項、安全に使用するための適切な操作方法で行う。
<p>※基本的には I、II からそれぞれ選択すること。ただし、肌質によって I または II のみを選択しても良い。 例: I のブラシピーリングをUゾーン、I のサクシオンをTゾーンに行う II のイオン導入を顔に、II の超音波を方に行う ※同種の施術同士を同一箇所に複数重ねることは禁止。 例: I の酵素洗顔の上から、I のブラシピーリングを行う(角質除去の重複)。 I のサクシオンを行った同一箇所に、II のパターを行う(吸引作用の重複)。</p>				
④	15分	フェイシャルマッサージ	・マッサージ料の肌への適合性と使用量	<ul style="list-style-type: none"> 施術目的や肌質に適合したマッサージ料を選択し、適量を使用する。 使用する化粧品の特徴成分、効果を理解している。
			・テクニック	<ul style="list-style-type: none"> 基本6手技を用いる。 各手技の目的と効果を理解し、丁寧さ、密着、リズム、強弱、連続性に配慮したマッサージを行う。 表情筋や骨格、リンパ節の位置を理解し、的確な範囲・走行でトリートメントを行う。 技術にまとまりがあり、全体を通して心地良い技術を行う。
			・拭き取り	<ul style="list-style-type: none"> コットンやスポンジの清潔な面で、肌に負担をかけないように拭き取る。 拭き残しがないように、丁寧かつ手際良く拭き取る。
※マッサージはフェイシャルからデコルテまで行う。				
⑤	20分	パック(マスク)整肌	・パック料の塗布と拭き取り	<ul style="list-style-type: none"> 適量をムラなく均一な厚さで塗り残しなく塗布する。 手際よく丁寧に塗布する。 髪のが生え際や目、口の周りへの配慮をする。 肌に負担をかけず、手際よく拭き残しのないように拭き取る。
			・整肌	<ul style="list-style-type: none"> 施術目的や肌質に適合した化粧品を選択し、適量を使用する。 丁寧に手際よく、適切な方法で整肌を行う。
			・原状復帰	・後片付けを丁寧に、原状復帰する。
<p>※パック料は鎖骨下2～3cmくらいまで塗布する。 ※ピールオフタイプやシートタイプの使用は不可。拭き取りタイプのパック料では透明なパック料の使用は不可。 ※整肌では、化粧水によるパッティングまたはローションパックのどちらかを選択する。 ※保護では、乳液、クリーム、日焼け止め等を適宜使用する。</p>				
—		全体を通しての接客・誘導	・姿勢	・正しい姿勢、歩き方、座り方を意識する。
			・接客マナー	<ul style="list-style-type: none"> 好感のもてる表情、立ち居振る舞いで臨む。 正しく美しい言葉遣いで話す。 丁寧にスムーズな誘導をする。
			・モデルへの配慮、気配り	<ul style="list-style-type: none"> モデルに対して常に気を配り、配慮ある心遣い、声かけ、対応をする。 礼儀正しく心のこもった接遇で、モデルと適切なコミュニケーションを図る。
			・安心感	・謙虚で真剣な態度で臨み、安心感や信頼感に繋げる。
		口頭試問	<ul style="list-style-type: none"> モデルの肌質についての知識、皮膚トラブルの原因とメカニズム、選択した技術の目的と効果、禁忌事項や注意事項、基本手技の目的と効果、使用化粧品の特徴成分、ホームケアアドバイスなどについて適切に回答する。 	
・受け答えのマナー	・口頭試問にはマナー良く回答する。			

【選択技術試験の流れ (試験時間：25分)】

順序	所要時間	科目	試験内容	施術上の留意点		
①	20分	事前準備	・準備(器具、用具、化粧品)	・器具、用具、化粧品は全て用意する。 ・化粧品は、モデルに適したものの、かつコースの流れに沿ったものを準備する。		
			・ワゴンのセッティング	・器具、用具、化粧品は必要なものを不足なく機能的に配置し、ワゴンは施術しやすい位置にセッティングする。 ・不要なものはワゴン上に出さず、引き出しに入れる。		
			・ベッドメイキング	・ベッドは清潔感があり、シワのないようきれいにセッティングする。		
			・衛生面	・使用する器具、用具の消毒を適切に行い、使用済と未使用なものとの分別をする。 ・化粧品を衛生的に使用する。 ・施術前や施術中の手指の消毒を常に心掛ける。		
		選択技術	以下3種類の中から1つ選択する。 ○ネイル(片手5本) ○メイク(ナチュラルメイク) ○エステティック関連技術 ※以下の4つの中から1つ選択する。場合によっては組み合わせても可。 脂肪のもみだし / リフレクソロジー / ハンドマッサージ / ヘッドマッサージ			
			・テクニック	・モデルの目的や肌質に合わせ、正しい工程で安全に技術を行う。		
			・手際	・無駄な動きのない、効率的かつ丁寧な施術を行う。 ・指定された時間内で、指示された技術工程を行う。		
			・仕上がり	・目的や肌質に合わせ、効果的に仕上げる。		
		・コンサルテーションは行わず、選択理由は口頭で説明する。 ・ネイルは予め仕上げ前まで整えておく(当日は施術工程を確認する)。 ・ネイル及びメイクの粧材は各認定校の教材を使用する。 ・メイクは時間内であれば、コントロールカラー、コンシーラー、ローライト、ハイライト等の使用可。 ・エステティック関連技術はハンドトリートメント技術のみで機器は使用しない。モデルに合わせて選択する。				
		②	5分	拭き取り 原状復帰	・拭き取り	・タオルを適切に扱い、拭き残しがないように、素早くかつ丁寧に拭き取る。
・原状復帰	・後片付けを丁寧にを行い、原状復帰する。					
—	全体を通しての 接客・誘導	・姿勢、体重移動	・正しい姿勢、歩き方、座り方を意識する。			
		・接客マナー	・終始、好感のもてる表情、言葉遣い、立ち居振る舞いで臨む。			
		・モデルへの配慮、気配り	・礼儀正しく心のこもった接遇で、モデルと適切なコミュニケーションを図る。			
		・安心感	・謙虚で真剣な態度で臨み、安心感や信頼感に繋げる。			
	口頭試問	・全体を通しての理解度	・モデルの皮膚や身体の状態についての知識、選択した技術の目的と効果、禁忌事項や注意事項、使用化粧品の特徴成分、ホームケアアドバイスなどについて適切に回答する。			
		・受け答えのマナー	・口頭試問にはマナー良く回答する。			

5. モデルについて

受験当日にはモデルを同伴してください（事務局ではモデルの手配は行っておりませんので、ご注意ください）。認定校での受験の場合は、受験者同士の相モデルでも構いません。

受験日当日は、異性の受験者及びモデルと同室となる場合がありますので、事前にモデルに了承を得た上で同伴してください。

【モデルの条件】

- 18歳以上であること。
- 全ての施術に対応できるモデルであること。
- 男性モデルは髭を生やしていないこと。

【モデルになれない方】

以下の項目に該当する場合は、受験不可となる場合があります。

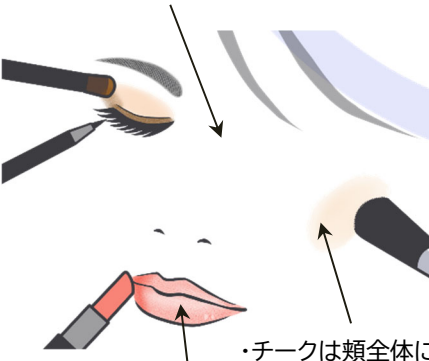
- エステティック禁忌事項に該当する方
- アートメイクやまつげエクステンションをしている方
 - ※メイクが落ちているか否かの判断がしにくい場合、クレンジングの採点が0点になります。
- 極度の敏感肌やアトピー性皮膚炎など、試験の進行に支障をきたす恐れのある方
 - ※普段の練習モデルの方でも、肌状態によっては試験官の判断により受験をお断りする場合があります。
- 治療中の疾患がある方、または半年以内に手術（美容整形を含む）を受けた方
- 持病があり、根治していない方
- 心臓ペースメーカーなどの医療電子機器を装着している方
- 体内にボルトなどの金属製の固定具が埋め込まれている方
- 感染する恐れのある疾病や皮膚疾患のある方
- タトゥーを入れている方
- 妊娠中・出産直後の方
- 発熱やリンパの腫れが見られる方や1週間以内に37.5℃以上の発熱があった方
- 全身倦怠感、過度の疲労感や睡眠不足など体調不良の方
- 2週間以内に強い日焼けをした方
- アレルギー反応が出ている方
- 試験日の1週間以内にワクチンを接種した方

同伴モデルへの配慮を心掛け、モデルが試験中に体調不良等により途中退室を希望した場合は必ず試験官に申し出てください。

【モデルのメイク】

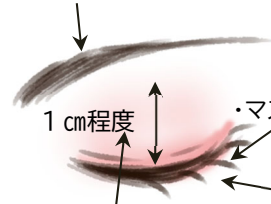
実技試験ではクレンジングを行うため、モデルの方には事前にフルメイクをしていただきます。
『モデル用受験要項』を参考に、できるだけはっきりとしたメイクをしてもらってください。

- ・ファンデーションはパウダータイプでもリキッドタイプでも可
- ・生え際、顎裏含めて顔全体に塗る



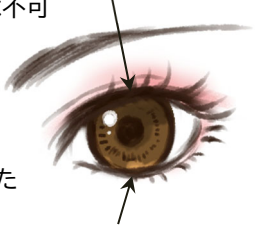
- ・チークは頬全体に塗る。

- ・アイブロウはパウダーまたはペンシルを使用
- ・眉マスカラは不可



- ・アイシャドウの色は問わないが、はっきりとした色のものを使用
- ・大きめのラメは使用しない

- ・アイラインは、ペンシルまたはリキッドを使用し、目頭から目尻まで太めのラインを入れる
- ・インラインは不可



- ・下まぶたにアイラインは入れない

※ウォータープルーフタイプの化粧品は使用しないでください。
※アクセサリ、コンタクトレンズは事前に外してください。

ベースメイク	ファンデーション	パウダータイプ、リキッドタイプは問わない。
		生え際、顎裏を含めて顔全体に塗る。
ポイントメイク	アイブロウ	パウダー、またはペンシルを使用。
		眉マスカラは不可。
		*アートメイクを入れている方はモデルになれない。
	アイシャドウ	塗る。色は問わない。大きめのラメは使用しない。
		下まぶたには塗らない。
	アイライン	ペンシル、またはリキッドを使用。
		パウダーでぼかしているようなものは不可。
上まぶたは目頭から目尻(端から端)まで描く。		
下まぶたにはラインをいれない。		
マスカラ	塗る。色は問わないがウォータープルーフは不可。	
	*まつげのエクステンション・付けまつげ禁止。	
	見た目で分かる色の口紅を使用する。落ちにくいものは不可。	
リップ	口角から口角まで上下ともに塗る。	
	ティントやグロスは不可。	
	頬全体に塗る。色は問わない。	
チーク		
その他	※ウォータープルーフタイプのメイクアップ化粧品は使用不可。 ※カラーコンタクト・コンタクトの装着不可。試験時は外す。	

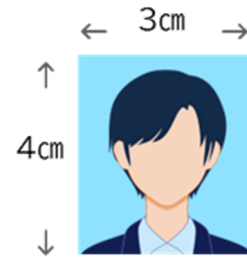
6. 受験者準備物と貸出品について

【受付時に必要なもの】

- ・ 写真*が貼付された受験票（写真の貼付がない場合は受験することができません）

※写真について

- ・ 証明書用写真（タテ 40mm × ヨコ 30mm）
- ・ 過去 3 か月前以内に撮影されたもの
- ・ 上半身正面向・無帽・無背景のもの
- ・ 眼鏡使用の場合は無色透明のレンズに限る
- ・ スナップ写真、不鮮明な写真、特殊加工を加えたものは不可



【実技試験時に必要なもの】

① 化粧品類

- 当日のモデルの肌質を想定した化粧品、トリートメント用材

※化粧品を別容器に移し替える場合は、容器に成分表を貼付してください。

※オールスキンタイプ、ボディ、フェイシャル兼用のものは使用不可です。

※以下のパック料は使用できません。

- ・ ピールオフタイプや石膏パック等、拭き取りの工程が少ないもの。
- ・ シートタイプ（貼付タイプ）のもの。
- ・ 透明で仕上がりがわかりにくい拭き取りタイプのもの。

② リネン類

- ベッドメイキング用タオル（バスタオルまたはタオルケット等）：シーツ用と上掛け用

- フェイシャル用：必要枚数

- ボディ用：必要枚数

- 施術用等：必要枚数

※リネン類は無地で白または淡い色の清潔なものをご使用ください。

※不足しても事務局では貸し出しを行いません。

③ 消毒剤類

- エタノール、塩化ベンザルコニウム等、消毒対象物に適したもの

④ 消耗品類

- コットン、綿棒等必要に応じて

⑤ 備品類

- 消耗品（コットン・綿棒等）を入れる蓋付容器を入れる容器
- パック料等の化粧品を入れる容器
- セッシ
- セッシ立て
- スパチュラ
- 刷毛
- スポンジ
- ボウル 等

※容器等はサロンで使用することを前提としたものを用意してください。

※その他各自必要と思われるものをご用意ください。

⑥ その他

<モデル用>

- ガウン
- セパレートタイプの水着（ペーパーブラジャー、ペーパーショーツでも可）
- スリッパ

<受験者用>

- ユニフォーム（制服）、シューズ、マスク
- バインダー、シート記入用の筆記用具（多色ペン等）
- 事前記入欄記入済みのコンサルテーションシート（フェイシャル・ボディ・選択技術）
- ボディチェック用マット
- 機器・トリートメント用具等の自由選択持ち込み物（ワゴンに置けるプロユースのもの）
※必要があれば延長コードをお使いください。
- 時計またはタイマー（会場には時計を用意しています）
※スマートウォッチ不可、携帯電話等の会場内への持込は禁止とします。
- 梱包用具一式（会場から荷物を返送する方）：ガムテープ、はさみ

【会場準備物】

- ベッド（1台）
- スツール（1台）
- ワゴン（1台）
- フェイシャル機器及び付属備品（スチーマー、ブラシ、吸引、パター、イオン導入）
- ゴミ箱
- 給湯設備及び水道設備（洗い場）
- タオル蒸し器
- 純水器

□ 会場用時計

□ 荷物用のかご（ベッド下に準備物を置いておく）

※事務局では会場準備物以外の貸し出しは一切いたしません。

※忘れ物があると受験できなくなる場合がありますので、ご注意ください。

7. 試験前後の荷物の発送について

<試験前の荷物の発送について>

- ◎ 荷物の発送は、段ボールではなくスーツケースや衣装ケースをお勧めします。
- ◎ 事前に試験会場に荷物を発送する場合は、「元払い伝票」にてお送りください。
- ◎ 試験会場のご迷惑とならないよう、**事前にお伝えする着日・時間を指定して発送**してください。
- ◎ 各会場は校舎が複数ある場合がございますので、必ず指定住所に発送してください。
- ◎ 未着の荷物、または指定日・指定時間以外に届いた荷物に関しては、会場及び事務局は一切責任を負いません。各自で宅配業者に確認を取るようお願いいたします。荷物の問い合わせ番号は必ずお控えください。
- ◎ 指定日に荷物の発送ができない場合は、当日ご自身でお持ちください。
- ◎ 他の荷物に紛れてしまうと受験ができなくなります。伝票の「品名欄」を必ずご記入ください。
例) 「ビューティセラピスト実技試験用化粧品、備品等」
「割れ物注意」、「ご自身の実技試験日」

荷物の発送に関してご不明な点がある場合は、協会事務局までお問い合わせください。

荷物の到着日・時間は必ず厳守いただきますよう、お願いいたします。

(発送先・指定着日・指定時間は別途お知らせいたします)

<試験後の荷物の発送について>

- ◎ 試験会場から荷物を返送する際には、会場指定業者の「着払い伝票」に届け先・依頼主共に、ご自身のサロンや会社、お名前を記入してください。何らかのトラブルで荷物が会場に戻ってしまった場合は会場からの再送・転送はしませんので、各自で会場まで引き取りに行ってください。
- ◎ 会場が指定する宅配業者以外での発送はできません。
- ◎ 荷物は丁寧に梱包し、液体等が漏れないようにしてください。段ボールに水分が浸み出すなどの場合は返送できない可能性があります。その際は会場まで引き取りに行ってください。
- ◎ 荷物のトラブルに関する問い合わせは、ご自身で配送業者と連絡を取ってください。
- ◎ 万一トラブルが起きた際に必要となりますので、荷物の問い合わせ番号は必ずお控えください。
- ◎ 試験翌日の着払い指定はできません。

8. 受験上の注意事項

- ① 受験票を忘れた場合や受験票に写真の貼付がない場合は受験することができません。
- ② 試験開始 30 分前から受付を開始します。
- ③ 試験官は受験者の技術だけではなく、プロフェッショナルとしてのマナーも見ています。試験中は厳粛な気持ちで臨みましょう。
- ④ 試験中は試験官の指示に従って試験を進行してください。
- ⑤ 試験中、受験者とモデルとの間でアドバイス等とみられる会話やその他不正行為が確認された場合は不合格となりますのでご注意ください。
- ⑥ 試験中の途中退室は受験拒否とみなし、再入室できません。
- ⑦ 会場貸出の備品等は破損しないように丁寧に扱ってください。
- ⑧ 日本スパ・ウエルネス協会公式テキストの内容を前提に口頭試問や採点を行いますので、協会公式テキストで学習することをお勧めいたします。また、協会認定校では実技試験対策講座を行っています。希望の際は事務局までお問い合わせください。
- ⑨ 試験中に不測の事態（地震や火災など）が発生した場合は、試験監督者の指示に従ってください。
- ⑩ 試験終了後は会場外での不要な私語はご遠慮いただき、速やかにお帰りください。
- ⑪ 試験会場以外への立ち入りはご遠慮ください。
- ⑫ 試験会場での飲食等については、各会場のルールに従ってください。
- ⑬ 試験当日、学校保健安全法で出席停止が定められている感染症に罹患し治癒していない場合は受験することができません。その場合は、再受験等の措置を行いますので事務局にご連絡ください。



公式テキスト（10冊セット）

9. 試験後の整理整頓について

- ① 使用したベッド、スツール、ワゴン等は汚れを拭き、試験開始時と同じ状態にしてから退場してください。使用後の備品類は適宜消毒等を行い、必ず指定の場所に返却してください。
- ② 使用後のパック粧材は直接流しに流さず、必ず紙等で拭き取ってから洗うようにしてください。
- ③ 試験会場の整理整頓を心掛け、清潔にしてください。ゴミは全て持ち帰ってください。
- ④ 忘れ物にご注意ください。万一忘れ物があっても、会場・事務局での保管はいたしかねます。
- ⑤ 会場の物を誤って持ち帰ることのないようにご注意ください。

10. 試験当日の交通機関に関する注意事項

- ① 各会場には受験生・モデル用の駐車場及び駐輪場はありません。会場までは公共交通機関を利用してください。また、試験会場周辺の交通の妨げとなりますので自動車での送迎もご遠慮ください。
- ② 交通機関の混乱に備え、余裕をもって来場してください。
- ③ 交通機関の乱れなどで受験時間に間に合わないと判断した場合は、速やかに当協会まで連絡の上、指示を仰いでください。
- ④ 道に迷ったなどが原因の遅刻は認められません。前日までに会場への経路を事前に調べて確認しておいてください。ただし、会場内の下見はできません。
- ⑤ 主要交通機関の乱れなどにより、多数の受験者が試験開始時刻に間に合わないと判断した場合は、試験開始時間を遅らせることがあります。
- ⑥ 公共交通機関の遅延による遅刻の場合は、遅延時間によって別途対応する場合がございますので、必ず各交通機関発行の【遅延証明書】をお持ちになり、会場にて試験監督者に提出または提示してください。

IV 合否通知の発送

合否通知は、試験日より **2週間程度**で郵送にて通知いたします。電話やメールでの回答はいたしかねますので、ご了承ください。

※「ビューティセラピスト実技試験」、「ビューティセラピスト認定筆記試験（JEO 認証上級エステティシャン試験）」ともに合格有効期限は **3年間**です。期限内に両試験に合格し、登録申請を行うと資格を取得することができます。

※引っ越し等で住所、電話番号などに変更があった場合は、必ず事務局までご連絡ください。

※団体での受験の場合は、ご担当者様へまとめて送付いたします。

V 受験申し込みから資格取得までの流れ

筆記試験

- ① 筆記試験受験申込 出願に必要な書類を準備し、申し込む
- ② 筆記試験受験料振込 所定の受験料を振り込む
- ③ 筆記試験受験票の送付 筆記試験の受験票が発行される
- ④ 筆記試験受験 受験票に記載された日時、会場にて受験をする
- ⑤ 筆記試験結果の通知 筆記試験の結果通知書が届く

実技試験

- ⑥ 実技試験受験申込 出願に必要な書類を準備し、申し込む
- ⑦ 実技試験受験料振込 所定の受験料を振り込む
- ⑧ 実技試験受験票の送付 実技試験の受験票が発行される
- ⑨ 実技試験受験 受験票に記載された日時、会場にて受験をする
- ⑩ 実技試験結果の通知 実技試験の結果通知書が届く
既に入会済の場合、合格者にはディプロマも発行される

登録手続

- ⑪ 入会手続き（未入会の場合）日本スパ・ウエルネス協会の正会員への入会手続きを行う
- ⑫ ビューティセラピスト取得 ディプロマが発行され、後日会員カードが届く

※NPO 法人日本スパ・ウエルネス協会の入会手続きが完了しないと資格取得になりませんので、必ず手続きを行ってください。

※筆記試験及び実技試験はどちらから受験しても構いません。ただし、先に受験した試験の合格の有効期限は3年間です。筆記試験及び実技試験の両試験を合格して資格取得となりますので、ご注意ください。